

エコアクション21

環境経営レポート



取組期間 2023年1月～2023年12月

発行日 2024年7月1日

株式会社 多田文房堂

【取組の対象組織・活動の明確化】

□取組の対象組織・活動

○組織の概要

(1) 名称及び代表者

- ・株式会社 多田文房堂
- ・代表取締役 多田 宗弘

(2) 所在地

- ・本社 香川県高松市上林町501番地1
- ・倉庫 香川県高松市亀田町85-5 ※2024年6月末日、閉鎖
- ・東ハゼ倉庫 香川県高松市東ハゼ町15番地7 ※2024年7月1日稼働

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・環境管理責任者 十河昭宏
- ・連絡担当者 林博子
- ・TEL 087-887-0377

(4) 法人設立日

- ・1952年8月21日

(5) 資本金

- ・1000万円

(6) 事業内容

- ・文具、什器、事務機器の販売業、リサイクル家具の販売業
- ・産業廃棄物収集運搬業(廃棄する什器類の運搬)

(7) 許可の内容

- ・産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号03703193707 (積替保管なし)
許可年月日 令和4年2月24日 許可の有効年月日 令和9年2月13日
- ・取り扱う産業廃棄物の種類 ①廃プラスチック類②紙くず③木くず
④ゴムくず⑤金属くず⑥ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
⑦がれき類(水銀使用製品産業廃棄物を含む)

(8) 事業の規模

- ・売上高(出来高) 373百万円/2023年度
- ・従業員 16人
- ・延べ面積 事務所 509㎡
- ・延べ面積 倉庫 139.5㎡
東ハゼ倉庫 255㎡
- ・収集運搬実績 11.36t

(7) 事業年度

- ・1月～12月

○認証・登録の対象範囲

認証・登録の対象範囲

- ・本社 (東ハゼ倉庫は、2024年10月運用開始、2025年4月認証・登録拡大)

取組期間

- ・2024年1月～2024年12月

関連事業所

- ・なし

株式会社多田文房堂

環境経営方針

基本理念

「元気な職場創りで、輝く100年を共に歩む」を経営理念に掲げ、ライブオフィスを通じてお客様の「快適な職場づくり」へのお役立ちに取組み、お客様の環境負荷削減に貢献する会社を目指す。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ①省エネルギー活動に取り組みます。
- ②廃棄物の削減並びにリサイクル化に取り組みます。
- ③水使用量の削減に取り組みます。
- ④ライブオフィスの発信に取り組みます。
- ⑤収集運搬車両のエコドライブに取り組みます。

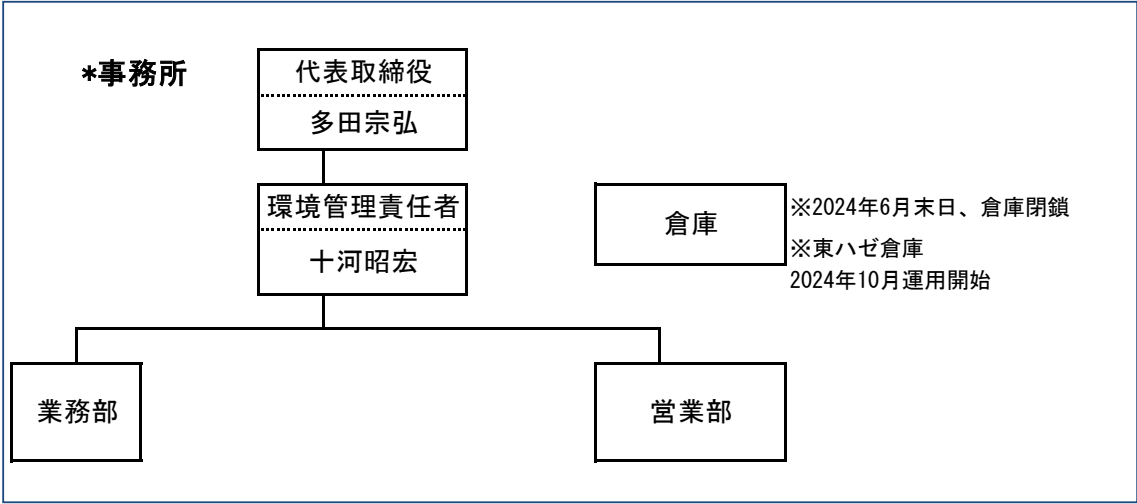
2 環境関連法規・条例・規則や当社が約束したことを遵守します。

環境経営方針は、全ての従業員に周知し、継続的な改善に取り組みます。

制定日：2018年8月1日
改定日：2022年8月1日（第2回）

株式会社 多田文房堂
代表取締役 多田 宗弘

株式会社 多田文房堂 実施体制図



	役割・責任・権限
代表取締役	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実地に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・ 全従業員に対する教育・訓練の実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 ・ 環境経営レポートを確認し、承認 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境経営目標、環境経営計画書を作成 ・ 環境活動の取り組み結果を代表者に報告 ・ 環境経営レポートの作成 ・ 特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 火災・地震 避難訓練
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

【環境経営目標】

○中・長期目的・目標

目的	単位	目 標			
		基準年(2020年)	2021年度 (8月～7月)	2022年度 (8月～12月)	2023年度 (1月～12月)
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	35,604	35,248	34,892	34,536
・電気使用量削減	kWh	20,189	19,987	19,785	19,583
・ガソリン使用量削減	L	9,297	9,204	9,111	9,018
・軽油使用量削減	L	1,297	1,284	1,271	1,258
廃棄物排出量削減	kg	3,562	3,526	3,491	3,455
水使用量削減	m3	35	35	35	35
ライブオフィスの展開	集客件数	40	45	50	55
収集運搬車両のエコドライブ *2	実施率	-	-	100	100

* 1. 電力のCO2 発生量については、

環境省公表四国電力2016年実績調整後排出係数0. 5 2 9 (kg-CO2/kWh)を使用した。

* 削減目標は3年間で3%削減します。但し、水使用量は事務椅子のクリーニング作業を開始したため中長期の目標を継続する。

* 化学物質の使用はありません。

* 2. ①エコドライブの励行 ②効率的な収集運搬ルートを選択

○短期目的・目標

目的	目 標(1月～12月)		
	単位	基準年(2020年)	2023年度
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	35,604	34,536
・電気使用量削減	kWh	20,189	19,583
・ガソリン使用量削減	L	9,297	9,018
・軽油使用量削減	L	1,297	1,258
廃棄物排出量削減	kg	3,562	3,455
水使用量削減	m3	35	35
ライブオフィスの展開	集客件数	40	55
収集運搬車両のエコドライブ *2	実施率	-	100

【環境経営計画】
(具体的取組内容と月次実施報告)

○取組期間 2023年 1月 ～ 2023年 12月

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③休憩時、不在時の消灯	CIO
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行 ②空気圧の定期検査実施強化 ③車内に余分な商品を載せない	業務部
	軽油使用量削減	①物量が少ない時は軽トラを活用する ②空気圧の定期検査実施強化 ③荷台に余分な商品を載せない	業務部
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①PCからの打出し時のチェック ②裏紙の使用 ③分別の徹底	CIO
	産業廃棄物削減	①分別の徹底 ②リサイクルの推進 ③不要なリサイクル買取りを減らす	営業部係長
水使用量削減	節水	①クリーニングをする時の水の節約	業務部
ライブオフィスの展開		①ライブオフィスの推進 ②リサイクル商品の提案 ③DX化の推進に向け提案	営業部係長
収集運搬車両のエコドライブ		①エコドライブの励行 ②効率的な収集運搬ルートを選択	営業部係長

【環境経営目標実績結果と評価】

○取組期間 2023年 1月 ～ 2023年 12月

目的	単位	基準年(2020年度)	目標	実績	評価
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	35,604	34,536	25,836	○
・電気使用量削減	kWh	20,189	19,583	12,499	○
・ガソリン使用量削減	L	9,297	9,018	7,515	○
・軽油使用量削減	L	1,297	1,258	693	○
廃棄物排出量削減	kg	3,562	3,455	3,670	×
水使用量削減	m3	35	35	50	×
ライブオフィスの展開	集客件数	40	55	40	×
収集運搬車両のエコドライブ	実施率	-	100	100	○

* 1. 電力のCO₂発生量については、
環境省公表四国電力2016年実績調整後排出係数0.529 (kg-CO₂/kWh)を使用した。

* 2. ①エコドライブの励行 ②効率的な収集運搬ルートを選択 ○:達成
×:未達

○コメント

二酸化炭素の削減	・二酸化炭素削減目標を達成できた。 ・夏場においては執務室に設置している移動式間仕切りを使い、空調の温度管理或使用頻度を減らし節電対策を行った。 ・電気に関しては、全社員が節電を意識してこまめな照明の消灯等をおこなった。 ・可能な限りリモートでの会議や社員で移動の際は社用車の乗り合わせを実施したことでガソリン代及びガソリン料を削減ができた。 ・軽油に関しては大物搬入以外は極力軽自動車を使いトラック使用率を減らした。
廃棄物排出量の削減	・事務所では弁当容器等の排出もなく、少量の紙ごみと包装ごみがある。 ・ビニール類は透明、半透明に分別を徹底しビニールのリサイクルに取り組んだが、未達成となった。
水使用量の削減	・引取や買取した事務椅子クリーニング作業が増加傾向でありながらも節水に努めたが、目標値を超えてしまった。
ライブオフィスの展開	・ライブオフィスの周知に向けた積極的なPR活動を行ったが目標の数値には達しなかった。 ・ライブオフィスにおいて自社での取り組みであるフリーアドレス方式を活用したクリアデスクやペーパーレスを積極的にPRを行った。
収集運搬車両のエコドライブ	・新しく目標設定したが、エコドライブは社内に定着しており、スムーズに取り組めた。 ・廃棄什器類の引き取りの際、ラッシュ時を避け、効率的な移動ルートを選択した。

【環境経営計画の取組結果とその評価】

・取組期間 2023年 1月 ～ 2023年12月

		具体的実施項目	実施責任者	1～6月	7～12月	評価
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③休憩時、不在時の消灯	CIO	○ ○ ○	○ ○ ○	○
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行 ②空気圧の定期検査実施 ③車内に余分な商品を載せない	業務部	○ ○ ○	○ ○ ○	○
	軽油使用量削減	①物量が少ない時は軽トラを活用する ②空気圧の定期検査実施強化 ③荷台に余分な商品を載せない	業務部	○ ○ ○	○ ○ ○	○
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①PCからの打出し時のチェック ②裏紙の使用 ③分別の徹底	CIO	○ ○ ○	○ ○ ○	○
	産業廃棄物削減	①分別の徹底 ②リサイクル率の推進 ③不要なリサイクル買取りを減らす	営業部係長	○ △ ○	○ ○ △	△
水使用量削減	節水	①クリーニングをする時の水の節約	業務部	○	○	○
ライブオフィスの展開		①ライブオフィスの推進 ②リサイクル商品の提案 ③DX化の推進に向け提案	営業部係長	△ ○ ○	△ ○ ○	△
収集運搬車両のエコドライブ		①エコドライブの励行 ②効率的な収集運搬ルートを選択	営業部係長	○ △	○ ○	△

○できた △一部出来ていない ×出来ていない

○評価に対するコメント

目的	
二酸化炭素	・複数人の配達員が稼働するようになり、より効率を重視した順番での配送、エリアごとの分担を徹底した。 ・コロナも少し落ち着いてきたので社員の常駐する場所に変更を加え、吹き抜けでエアコンの使用が非効率な受付を無人にしてエアコンにかかる電気を抑える努力をした。 ・定期的な車の点検を実施し、タイヤの空気圧やオイルの交換で燃費の向上に務めた。
廃棄物	・リサイクルオフィス家具の買い取りニーズの高まりがあり、在庫も増加傾向にある。 ・本来ゴミになってしまう鉄類の廃棄物に関しては買い取ってもらい、リサイクルしている。 ・紙の使用を減らす為に裏紙の使用や、ミスプリントを減らすようコピー機にカードリーダー認証を取り付けて打ち出し時のチェックをおこなっている。
水使用量	・節水シールを貼付けし目視による確認が出来ている。 ・事務椅子のクリーニングに関しては顧客からの作業依頼の有無で水の使用量が増えるので、極力節水を心掛けながら作業をおこなう。
ライブオフィスの展開	・SNSやHPを活用し、たくさんの方に来ていただけるよう努力した。 ・弊社自身が(綺麗なオフィス)を持続し、モデル企業となるよう整理整頓を心掛けている。
収集運搬車両のエコドライブ	・エコドライブは社内に定着しており、タイヤ空気圧点検等のメンテナンスも実施できた。 ・廃棄物器具類の引き取りの際、ラッシュ時を避け、効率的な移動ルートを選択した。

【次年度の環境経営目標】

○中・長期目的・目標

目的	単位	目 標			
		基準年(2023年)	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	24,899	24,650	24,401	24,152
・電気使用量削減	kWh	12,499	12,374	12,249	12,124
・ガソリン使用量削減	L	7,515	7,440	7,365	7,290
・軽油使用量削減	L	693	686	679	672
廃棄物排出量削減	kg	3,670	3,633	3,597	3,560
水使用量削減	m3	50	50	50	50
ライブオフィスの展開	集客件数	40	40	40	40
収集運搬車両のエコドライブ *2	実施率	100	100	100	100

* 1. 電力のCO2 発生量については、

環境省公表四国電力2022年度実績調整後排出係数0.454(kg-CO2/kWh)を使用した。

* 削減目標は3年間で3%削減します。但し、水使用量は事務椅子のクリーニング作業を開始したため基準年の実績を維持する。

* 化学物質の使用はありません。

* 2. ①エコドライブの励行 ②効率的な収集運搬ルートを選択

○短期目的・目標

目的	目 標		
	単位	基準年(2023年)	2024年度
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	24,899	24,650
・電気使用量削減	kWh	12,499	12,374
・ガソリン使用量削減	L	7,515	7,440
・軽油使用量削減	L	693	686
廃棄物排出量削減	kg	3,670	3,633
水使用量削減	m3	50	50
ライブオフィスの展開	集客件数	40	40
収集運搬車両のエコドライブ *2	実施率	100	100

【次年度環境経営目標及び環境経営計画】

○次年度の環境経営計画

取組期間 2024年1月 ～ 2024年12月

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素排出量	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③休憩時、不在時の消灯	環境管理責任者
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行 ②空気圧の定期検査実施強化 ③車内に余分な商品を載せない	営業部課長
	軽油使用量削減	①物量が少ない時に軽トラを活用する ②空気圧の定期検査実施強化 ③荷台に余分な商品を載せない	営業部課長
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①PCからの打出し時のチェック ②裏紙の使用 ③分別の徹底	環境管理責任者
	産業廃棄物削減	①分別の徹底 ②リサイクルの推進 ③不要なりサイクル買取りを減らす	営業部係長
水使用量削減	節水	①クリーニングをする時の水の節約	業務マネージャー
ライブオフィスの展開		①ライブオフィスの推進 ②リサイクル商品の提案 ③DX化の推進に向け提案	営業部係長
収集運搬車両のエコドライブ		①エコドライブの励行 ②効率的な収集運搬ルートを選択	営業部課長

【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無】

No	法令名	チェック項目	条文No.	条文タイトル
1	香川県環境基本条例	事業活動によって発生する廃棄物を適正に処理する。事業活動を行うに当たっては、公害の防止その他の環境への負荷の低減または自然環境の適正な保存のために必要な措置を講じなければならない。	第5条	事業者の責務
2	みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例	事業者は、県が実施する緑化の推進とみどりの保全に関する施策に協力するよう努める。	第4条	県民及び事業者の責務
3	香川県生活環境の保全に関する条例	地球温暖化防止の理解を深め、自動車によるCO2の排出を抑制するため、エコ運転を励行する。	第90条	事業者における温室効果ガスの排出抑制等
4	同上	事業所にて発生する廃棄物の減少に努め資源の有効活用を図ると共に、電気の使用量を削減し省エネルギー活動を推進する。	第92条	省資源及び省エネルギーのための行動
5	同上	エネルギーの消費量が少ない電気機器等の使用及び電気機器等の効率的な使用に努める。	第93条	エネルギーの消費量が少ない電気機器等の使用等
6	同上	環境マネジメントプログラム展開体制の組織が設置する。	第96条	普及啓発のための組織
7	同上	アイドリングストップの励行する。	第99条	自動車等の駐停車時の原動機の停止
8	高松市環境基本条例	事業活動によって発生する廃棄物を適正に処理する。	第5条	事業者の責務
9	フロン排出抑制法	業務用エアコンの適正管理(簡易点検)を行う。	第16条	管理者の判断基準
10	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・廃棄物の排出を依頼する場合には委託契約書を締結する。産業廃棄物はmanifestを発行し、収集運搬、中間処理、最終処理の確認を実施する。manifest発行から5年間記録を保管する。香川県へのmanifestに関する報告書を提出。産業廃棄物は見やすい場所へ保管場所である旨、保管する産業廃棄物の種類等の表示をした掲示板を設置する等を守る。 ・受託した産業廃棄物について、収集又は運搬基準の遵守、産業廃棄物管理票（manifest）の使用 ・書面での委託契約の締結 ・収集運搬車両の掲示、書面の備え付け	第12条、施行規則8条	事業者の責務
11	グリーン購入法	出来る限り環境物品等を選択する。	第5条	事業者の責務
12	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	特定家庭用機器の排出する場合は適切に処理する。	第6条	事業者の責務

環境関連法規は遵守しています。又、利害関係者から訴訟及び関係行政機関からの指摘も過去3年間ありません。

【代表者による全体の評価と見直し・指示】

「環境経営目標実績について」

- ・全体のCO₂排出量目標は、目標値より削減できている。
- ・電気及び空調は事務所の移動式間仕切りを使用して省エネ活動に取り組んだ。
- ・燃料費では倉庫移転によりトラック及び軽トラックをリサイクル家具の運搬用として使用し、今年度は軽油の使用が増えた。
- ・水の使用量に関しては未達だった。理由は、倉庫移転に伴い在庫品を新たにクリーニング作業する機会が増えたため。
- ・社用車のタイヤ空気圧点検、ムダなカタログ、荷物等の載せっぱなしの走行をやめ燃料費を削減していく。またエンジンオイルの交換を徹底する。

「環境経営計画について」

- ・引き続き、事務所の間仕切り活用で省エネに貢献する。
- ・ライブオフィスの発信では、新たに太陽光パネルを顧客に伝え、自社発電の有効性、CO₂の削減を発信していきたい。
- ・実施責任者の役割分担を変更した。

「次年度の取り組み」

- ・環境経営目標は、2024年度の環境経営目標に取り組む。
- ・テレワークの実施率を増やし、通勤にかかるガソリン使用、事務所のエネルギー使用を減らす。
- ・毎週水曜日を店休日とし、エコ活動の共有意識を高めること。
- ・環境経営方針と実施体制は変更なく取り組む。

2024年9月20日
代表取締役 多田宗弘